

今年、灯台150周年です

現在、全国にある灯台の始まりは、明治の初めに導入された洋式灯台にさかのぼります。

江戸末期、英・米・仏・蘭の四ヶ国が、関門海峡を舞台に長州藩と戦った下関戦争の賠償の一環として、開港した各港への灯台の設置を約束させ、1番目に建設された灯台が、神奈川県横須賀市にある観音埼灯台です。

明治元年11月1日に、この観音埼灯台の建設を着手しており、この年を基点として、平成30年は、灯台の近代化150周年を迎えます。

対馬の主な灯台

灯台150周年にあたり、対馬に設置されている主な灯台を毎月順番にご紹介します。

その5 対馬棹埼灯台

対馬棹埼灯台は、対馬の北西端に設置している灯台で、更に、日本の最北西端に位置する灯台でもあります。三島灯台とともに、対馬西水道を航行する船舶の安全を見守っています。





対馬棹崎灯台の灯塔は、昼間でも識別し易いように、白地に赤横帯2本の模様となっています。



灯台の光の強さは、45万カンデラで、約43キロメートル先まで光が届きます。



灯台の扉に「灯台QRコード」を貼っています。
対馬棹崎灯台まで、足を運んで、灯台カードを入手してください。

棹崎公園内には、対馬野生生物保護センター等があります。



対馬市の公園案内板



対馬棹崎灯台からの景観